

総論 現 CAD/CAM 歯科技工

愛知県歯科技工士会 緑支部 吉田 武尊

A はじめに

現在、数ある歯科関連の文献の何処かに必ず『CAD/CAM』という言葉が載るようになった。その中の歯科用 CAD/CAM についての詳解をすべて読み、知識を得る事が最優先であるが、その足がかりとなる様、説明したいと思う。

B 概 要

- i 歯科用 CAD/CAM 関連用語とその解説
- ii 『3M Lava』, 『Nobel Procera JENION』を用い製作した歯科技工物の紹介

C ま と め

急速に浸透しつつある CAD/CAM 歯科技工であるが、現時点ではすべての歯科技工に採用される技術ではない。しかし、将来的に CAD/CAM 歯科技工は歯科技工所にとって必須条件に成り得るのではないかと思われる。また、それに伴い『CAD/CAM が広まれば歯科技工士の仕事が無くなるのではないか?』といった漠然とした不安が生じる事が予見される。しかしこれは現状から未知なる方向へ変化する事への不安であり、予備知識を習得し、現時点での臨床例を見る事により今後どのように歯科用 CAD/CAM が進展してゆくのかを予見できると思う。

D 結 論

歯科用 CAD/CAM は一朝一夕で進展している。歯科技工業に従事する限り対峙する日が必ず来る。その日に備えて情報を収集し、何処に着眼し、判断して自身の歯科技工に新たな技術として取り入れるかが大切である。